

「担い手育成特定資産事業 活用事例紹介 安堵城 龍篤さん（久慈市）」

執筆者 久慈農業改良普及センター 菊地 雄大

久慈市山形町で平成 28 年に和牛繁殖経営で就農した安堵城 龍篤^{あんどしろ りゅうとく}さんを紹介し

ます。安堵城さんは、平成 22 年に岩手県立農業大学校を卒業後、新岩手農業協同組合の人工授精師として働いていましたが、「久慈地域の農業を少しでも元気づけていきたい」との思いから、ご夫婦で就農しました。

就農当初の飼養頭数は、和牛繁殖牛 2 頭でしたが、年々増頭し、現在は 20 頭まで規模拡大しました。

さらに、令和 3 年には、離農する酪農家から乳用経産牛を譲り受け、50 頭規模の酪農経営も行って

います。以前は、借用のディスクモア 1 台のみで採草していましたが、小面積の草地在りたため作業が間に合わなかったことから、令和元年度に担い手育成特定資産事業（地域経営資源継承支援事業）を活用し、中古ディスクモアを購入しました。

ディスクモアを 2 台使用できるようになったことで、適期に刈り取った良質な牧草を給与できるようになり、飼養している牛の状態が年々良好になっているそうです。

令和 2 年度には牛舎を新設するなど、規模拡大に意欲的な安堵城さん。

今後、久慈市山形町の和牛繁殖生産をけん引するリーダーとして、ますますの活躍が期待されます。



安堵城さんの日常作業風景



導入したディスクモア

【参考】

平成 31 年度（令和元年度） 地域経営資源継承支援事業

内容 中古ディスクモアの導入 総事業 810 千円（助成額 540 千円）